

地域発 元気づくり大賞 受賞事業

| 地域 | 事業名 | 団体名 | 事業概要 | 理由選定のポイント |
|-----|------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 上小 | 若者による地域活性化のためのメディア創出事業 | UFM Group (ユーエフエム グループ) 〈上田市〉 | 上田地域の若者を対象に、若者の視点に立った地元情報誌(フリーペーパー)を作成配布する。これにより、若者が自分たちの住む町への興味を持つこと、地域の情報を取得し身近な行事に参加できるようにすること、広くなった上田市がお互いを知り合うためのきっかけとすることを促す。 ・フリーペーパー発行(10回、延べ55,000部) 【事業費:1,300千円 支援金:1,300千円】 | ○ 若者向けフリーペーパーを活用した地域情報の発信であり、若者の住む町への関心を喚起し、地域とのつながりを深めさせる貴重な手段となっている点で、他に例がない。 ○ 内容の充実や当初予定を上回る部数の発行を通じて、地域における情報発信手段としての認知度が高まっており、他団体や地域イベント等との連携が進んでいる。また、携帯電話への情報配信を新たに計画するなど発展性があり、迅速な情報発信と、これによる地域活性化が期待できる。 |
| 上伊那 | 雑穀アマランサスによる地域活性化推進事業 | 伊那地域アマランサス研究会 〈伊那市〉 | 栄養価に優れ、鑑賞にも適したアマランサスの栽培を促進し、遊休荒廃農地の活用やオリジナル商品開発等による地域活性化を図る。 ・アマランサスに関するシンポジウム開催 ・活用事例等を紹介するパンフレット作成(22,000部) 【事業費:704千円 支援金:700千円】 | ○ 菓子・甘酒・餃子・そば等の、実を活用した加工食品の開発が想定以上に広がっているほか、伊那市内の25保育所・小学校の給食に活用されるなど、地産地消や食育が大きく進んでいる。 ○ アマランサスを活用したパスタ、そば等の料理や菓子などの商品が、常時レストランや商店で提供される体制が構築されているなど、取り組みの成果が地域に根付き、継続して効果を発揮することが期待できる。 |
| 下伊那 | 大鹿ジビエ料理推進事業 | 大鹿村観光協会 〈大鹿村〉 | 森林や農作物に基大な被害を与える有害鳥獣駆除により発生した獣肉を食材として活用することで、駆除の促進及び新たな観光資源としての有効活用と、ジビエ料理のガイドマップを作成し知名度向上による消費拡大を図る。 ・ガイドマップ作成(1,000部) ・新商品(レトルトカレー)開発 【事業費:1,239千円 支援金:1,000千円】 | ○ 有害鳥獣の駆除、獣肉の加工、活用の仕組みづくりを進め、その一環として商品開発やPRを行っており、食材としての価値を向上させている。地域内で一貫性がある取り組みは他地域に例がない。 ○ 村内の食堂・旅館がアイデア料理を競い合うことで、地域性に富む特徴ある料理が多数生まれるとともに、ジビエによる地域活性化が県内外の注目を集め、視察が増加するなど、知名度の向上に予想を上回る効果を上げている。 ○ 肉処理、多彩なジビエ料理、家庭でも利用できるレトルトカレー、ジビエの魅力を伝えるパンフレットなど、ジビエを村の特色ある産業とするため、加工から消費に至る各段階の体制が確立されている。 |
| 北安曇 | 池田町・松川村ものづくり振興事業 | テクノ安曇野高瀬プロジェクト 〈池田町〉 | 技能講座、技能検定受講支援講座及び地元企業の熟練技術者からの技術伝承を行うために必要な機器(フライス盤、測定工具)を整備し、工業高校を含む産学連携により地域の産業を支える若年技術者の育成を図る。 ・フライス盤、測定器具購入 ・若手技術者技能向上のための実務講座開催(3講座) 【事業費:1,194千円 支援金:1,019千円】 | ○ 技能検定合格を目標に置いた人づくりを着実に進めることで、地域製造業の技術力を底上げして、地域の活性化を目指す取り組みであり、県内では他に例がない。 ○ 平成19年度は延べ15名、平成20年度は、これまで13名の技能検定合格者を生み出しており、高い技術を持つ人材を安定的に育成する体制が確立している。 |